

海外医師会との交流

(1) ドイツ医師会年次総会

令和元年5月27日、28日の両日、ドイツ医師会フランク・ウルリッヒ・モントゴメリー会長からの招待に応じ、横倉義武会長、道永麻里常任理事、畔柳達雄参与が、ミュンスターで開催されたドイツ医師会年次総会に出席した。

総会には、24か国約50名の海外賓客、約250名のドイツ医師会代議員の他、ドイツ全土から参加があった。横倉会長は、海外賓客として、世界医師会（WMA）前会長、日本医師会長として紹介された。

今年度の総会のテーマは、医療政策の他、「職場における医師の健康と Well-Being」であった。モントゴメリー会長は、2期8年の任期を終え、ドイツ医師会長を退任した。総会期間中に会長選挙が行われ、クラウス・ラインハルト氏が新会長に選出された。

会期中、モントゴメリー前会長や海外医師会招待者と WMA の活動について意見交換した。また、ドイツ連邦保険医協会ガッセン会長と面談を行い、両国の医療政策における最新の動向について議論を行った。

(2) アメリカ医師会（AMA）年次総会

令和元年6月10日、横倉義武会長、星北斗参与が、シカゴで開催された AMA 年次総会に出席した。海外賓客夕食会では、AMA のジェームズ・マダラ CEO 他 AMA 幹部、海外医師会招待者と、世界医師会の活動や各国の医療制度等について意見交換を行った。

総会では、パトリス・ハリス AMA 新会長（2019年－20年）の就任式が行われた。ハリス会長は、初のアフリカ系アメリカ人女性として、会長に就任した。

(3) イギリス医師会年次総会

令和元年6月24日・25日、横倉会長への招待に応じ、北アイルランドのベルファストで開催された2019年イギリス医師会年次総会に、道永常任理事が日本医師会役員、世界医師会（WMA）理事会副議長として出席した。

WMA エイデルマン会長（イスラエル医師会前会長）ならびにモントゴメリー理事会議長（ドイツ医師会前会長）、アイルランド、アメリカ、カナダ、オーストラリア、オランダ、ガーナ、スリランカ、中国、マレーシア、マルタ、ナイジェリア、トリニダード・トバコ各医師会らと意見交換を行った。イギリス医師会新会長には、インペリアル・カレッジ・ロンドン医の倫理の名誉教授であるラアナン・ギロン教授が就任した。

(4) オランダ医療視察

令和元年9月25日、オランダのロッテルダムにおいて開催された「Health Holland Visitors Program 2019」に、横倉義武会長が鈴木邦彦前常任理事と参加し、医療制度、認知症対策等のセミナー、およびエラスムス大学医療センターの視察等を通じてオランダの医療の実態に触れた。本視察は、平成31年1月、在日本オランダ大使館経済部からの紹介で、オランダ経済省の企業庁の日本の医療・介護調査チームである Task Force Health Care の調査担当官が横倉会長を訪問したことが契機となり実現したものである。

同日夜には、オランダ医師会レネ・ヘマン会長主催による夕食会に招待され、ヘマン会長および同医師会役員と懇談を行った。オランダでは安楽死が法制化されているが、世界医師会（WMA）は安楽死に反対しており、その議論の過程でオランダ医師会は昨年末、一時的に WMA を脱退している。横倉会長は、日本で安楽死を取り上げたドキュメンタリー番組が国民の反響を呼んだことを紹介した。また、アジア大洋州医師会連合（CMAAO）の加盟医師会では、安楽死に反対する意見が大勢であったこと、WMA の議論でも安楽死が法制化されている国の意見を尊重していることを挙げ、同医師会の早い時期での WMA への再加盟をヘマン会長に呼びかけた。

（5）第72回台湾医師節慶祝大会

令和元年11月9日、台北で開催された「第72回台湾医師節慶祝大会」に横倉会長が招待を受け、道永麻里常任理事が代理出席した。同大会は、政治家、革命家、医師であり、台湾において国父と呼ばれる孫文の誕生日（11月12日）を記念して制定された「医師の日」を祝う会である。大会には、台湾全土から約300名の医師、海外来賓として道永常任理事とアメリカ医師会パトリス・ハリス会長が出席した。式典では、邱会長の主催者挨拶、蔡英文総統、陳時中衛生福利部大臣、張博雅監察院院長、立法委員による来賓挨拶に続き、道永常任理事が横倉会長の祝辞を代読した。